

各 位

2013 年 9 月 13 日
株式会社イオンファンタジー
代表取締役社長 片岡 尚
(コード番号 4343)
管理統括 広報・I R 室長 菅原 裕之
(電話 043-212-6203)

2014 年 2 月期 8 月度の営業概況

1. 業績の進捗

8 月度(2013 年 8 月 1 日～2013 年 8 月 31 日)の国内単体の営業収益は 50 億 78 百万円、前期比 101.6% となりました。

※月次の数値は、財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上(未監査)の数値です。

2. 月次売上高の前期比伸び率の状況

＜国内単体＞

(単位：%)

	8 月度		当期累計(3 月度～8 月度)	
	全店	既存店	全店	既存店
遊戯機械売上	100.8	102.0	102.7	99.1
商品売上	104.1	111.1	123.2	119.2
遊戯施設売上計	101.6	104.0	107.3	103.6
売上高合計	101.6	104.0	107.3	103.6

※決算期変更にともない、今期の 8 月度売上高全店伸び率は 2012 年 7 月 21 日～2012 年 8 月 20 日と対比しております。

既存店伸び率の前期期間は 8 月 1 日から 8 月 31 日で対比しております。なお、既存店伸び率は前期と比較し水曜日が減少し土曜日が増加となります。その影響は 1.0%の増加となり、既存店の伸び率の趨勢は 103.0%となります。

3. 営業の概況

8 月度は、上期最大の繁忙期であり遊戯機械売上の確保による粗利益の回復が課題でありましたが、1 ヶ月を通じて総じて堅調に推移いたしました。とりわけ、お盆休みの分散化が進み、8 月前半に対し後半は好調な業績となり、遊戯機械売上の既存店伸び率は 102.0%を確保するとともに、商品売上の継続した伸びもあり売上高、粗利益いずれも計画数値を確保することができました。

以上の結果、2014 年 2 月期第 2 四半期累計期間の国内事業の売上高は 230 億 15 百万円程度となり、前期実績に対し 7%程度上回る見通しです。

4. 出退店の状況

今期(2013 年 3 月 1 日～2013 年 8 月 31 日)は春日部店、つくば店、新潟青山店、東久留米店、大阪ドーム店が開店しました。(すべてモーリーファンタジー) ※2013 年 8 月度末国内店舗数：321 店舗

【参考情報：海外子会社の既存店売上伸び率の状況】

(単位：%)

	3 月度	4 月度	5 月度	6 月度	7 月度	8 月度
中国	155.5	112.7	130.3	132.0	134.3	151.5
マレーシア	101.2	81.7	111.9	102.4	106.7	93.4

注. タイ子会社は前年実績がないため未開示

以上